

# 한일 建築 (景福宮1)

# 한일



景福宮はソウルにある宮廷の建築物の中で最も代表的な建物であり、また最も歴史のある宮廷であります。朝鮮王朝時代の建築は仏教が排斥されてからは宮廷をはじめとして城郭、門など高麗時代にくらべ規模が大きく屋根の曲線も美しい建築物が多くつくられました。太祖(李成桂)が開城から漢城(ソウル)に都を移してきて最初に建立した(1394年)宮廷である。またその規模は延べ12万4000坪という広大な敷地に王宮をつくりあげた。200棟を超える宮殿建築は荘麗なものであった。1592年いみじくも尾張出身の豊臣秀吉が朝鮮侵略(壬辰倭乱)によって焼失するまでの約200年の間、李朝の正宮でした。1862年に再建され、1868年以後、高宗(李朝第26代の王)の正宮となった。その中で勤政殿(クンジョンジョン)は国王の即位式をはじめ臣下との朝会や賀礼を受けるなどの国家行事が行われた正殿で堂々たる建築物である。

景福宮の南側に正門として光化門(カンファムン)、東側に建春門(コンチュンムン)、西側に迎秋門(ヨンチュムン)、があります。景福宮の他に、第9代成宗が建てた徳寿宮(トクスグン)第4代太宗が建てた昌徳宮(チャンドックケン)ハングル文字など作らせたことで有名な第4代世宗が建てた昌慶宮(チャンギョクケン)、そして歴代国王の墓である宗廟(チョンミョ)をあわせて五大故宮と呼んでいます。





의



# 建築 (景福宮2)

의



①勤政門 クンジョンムン



②勤政殿 クンジョンジョン



③千秋殿 チョンチュジョン



④思政殿 サジョンジョン



⑤萬春殿 マンチュンジョン



⑦修政殿 スジョンジョン



⑧慶會樓 キョンフェル



⑨迎秋門 ヨンチュムン

